



## 【環境保全基金事業×南アルプス世界自然遺産登録推進事業】

# 静岡県川根本町を訪問し、意見交換を行いました。

平成 27 年 11 月 9 日(月)、北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会幹事会で、南アルプスユネスコエコパークを構成する静岡県川根本町を訪問し、ユネスコエコパーク等取り組みについて研修、意見交換を行いました。



南アルプスユネスコエコパークは、北杜市を含む 3 県 10 市町村で構成されており、今回、北杜市から最も遠い場所であり、ライチョウが生息する世界で最も南限となる南アルプス・光岳（てかりだけ）、大井川鉄道や川根茶でもよく知られている静岡県川根本町を訪問しました。



川根本町、川根本町の観光振興について、そして、川根本町が取り組んでいるエコツーリズムについてのご説明をいただき、意見交換を行いました。

川根本町エコツーリズムネットワークは、平成 20 年 3 月に設立され、会員は 60 名。カヤックやトレッキングのほか、里山の暮らしの体験などなど、町全体をフィールドにエコツーリズムと様々な資源がコラボレーションし、オンラインの地域づくり、そしてエコパークの町、エコツーリズムの町を目指しています。

←川根本町商工観光課長、川根町まちづくり観光協会事務局長、川根本町エコツーリズムネットワーク事務局の方々からの説明の様子



↓茶縁喫茶



また、川根茶縁喫茶・松島園を訪問し、特産品である川根茶のおいしい入れ方と茶葉づくりについてご説明をいただきました。

茶縁喫茶は、「縁あって来ていただいた皆さんに、川根本町が誇れる”日本一”の川根茶をぜひ飲んでいただきたい」と町内 10 軒の農家さんが開縁しています。

数々の品評会でも多くの賞を受賞している川根茶ですが、シカによる被害もあるそうです。

川根本町（静岡県榛原郡川根本町／平成 17 年本川根町と中川根町が合併）

人口約 8,000 人(高齢化率 45%) 面積約 497 ㎡ (県内 3 位/94%が森林) 標高 350~2,592m